

パソコン体験談 2

前回は私とパソコンとの出会いとして再びパソコンを買うことになったまでを書きました。さて、パソコンを買うと決めたら、次に問題になるのはどんな機種を買うか、です。最初にMSXを買ったときもそうでしたが、多種多様なものが発売されているので、どの機種を買うかでかなり悩んでしまいました。今回はそのあたりの話をしたいと思います。

《どんなパソコンを買うか》

まずはメーカー選びから。前回私が最初に購入したのは各メーカー共通のMSX機種でした。大方の人は知っていると思いますが、パソコンは基本的にメーカーが違えばソフトはそのメーカーで使えるものしか使えません。しかしMSXはメーカーが違っててもソフトに互換性がある、と言う事が特徴でした。これが発売された当初は注目されましたが、互換性を優先しているために機能が低く抑えられており、他に高機能機種が次々発売されるにつれ、次第に普及しなくなりました。こういうマイナーなパソコンには、ソフトも専門書も少なく、新製品のソフトも他より発売が遅れがちで、メジャーなパソコンのユーザーを羨ましく思ったものです。しかしこの程度ならまだ良かったのですが、そのうち、世間ではさらに次々と高機能のパソコンが発売され、それにつれてソフトもその機能に対応したものが発売されるようになると、それらのソフトのMSX版というものは機能の低いMSXでは作れなくなり、全く発売されなくなってしまいました。MSXもMSX2など、機能アップ機種が発売されましたが、それでも他に比べるとまだまだ低機能でした。こうなると、これ以上MSXにお金をつぎ込むのが嫌になって、新しいことをするために別の機器（例えばワープロ専用機）を購入するようになりました。

このような経験から今度はシェアの広いメーカーの機種のものを選ぶことにしました。こうなるとあえて企業名は出ませんが今の日本ではおのずと決ってきます。コンピュータの世界では、パソコン本体に限らず周辺機器やソフトを選ぶ場合でも、シェアの広いものの方が何かと便利だと感じています。種類も多いし、ソフトや解説書も多いからです。

メーカーが決まれば次はどんなタイプのパソコンを買うかです。私の場合、使う部屋が狭く置き場所が無いので、初めからノートパソコンを購入することを考えていましたので、このタイプの物にはどんなのがあるか、パソコンには詳しい編集委員の亀ちゃんに相談して、パソコン情報誌なんかを借りて調べてみると、パソコン本体と表示装置のディスプレイの分かれたデスクトップ型以外のコンパクトなパソコンには、ラップトップ型と、ノートタイプ型の2種類があることが分かってきました。ノートタイプとはいわゆるノートパソコンで、最近普及してきており、テレビのCMなどでよく見るのでどんな物かは分かりましたが、それとラップトップ型との違いが初めは分かりませんでした。もう一度電話で亀ちゃ

んに聞いたり、雑誌を読んだりしてやっと違いが分かってきました。ラップトップ型は、収納するときはパソコン本体、ディスプレイ、キーボードが一体になり、使うときはキーボードを本体から取り外して使うタイプをいいます。それに対してノートパソコンは使うときも本体、ディスプレイ、キーボードが一体となっているタイプです。大きさはノートパソコンの方が小型で、ラップトップ型は、いわばデスクトップ型とノートパソコンの中間の大きさです。

ここで問題になったのはフロッピーディスクの着脱をするフロッピーディスクドライブの数です。フロッピーディスクドライブは2つあれば便利ですが、1つではフロッピーディスクの着脱が頻繁になり、かなり不便です。デスクトップ、ラップトップ型の機種には大抵フロッピーディスクドライブは2つ付いていますが、ノートパソコンは大部分がフロッピーディスクドライブは1つしかついていません。私の場合、手が不自由なのでフロッピーディスクの入れ替え操作はできるだけ簡単な方がいいので、初めはラップトップ型を買おうと考えていました。しかし、このタイプはラップトップ（膝の上）という名前に反して、膝の上に置けるほど可愛い大きさではなく、重さもかなり有って持ち運びにも不便ということで、結局ノートパソコンを買うことにしました。フロッピーディスクドライブは1つですが、後から内臓ハードディスクを取り付けることによって、フロッピーディスクの出し入れの操作を減らせることが分かったからです。このハードディスクとはフロッピーディスクと同じように外部記憶装置の一種で、フロッピーディスクよりはるかに多くのデータを記憶することができます（フロッピーディスク1枚の記憶容量は1MB（メガバイト）ですが、ハードディスクは数10MBから、増設すれば数100MB）。ただ、このハードディスクという装置は、振動に非常に弱く、扱いに気を使わなければならないのが欠点です。

以上のようなことを踏まえて、結局私はNECの32bitのノートパソコンを買いました。これはフロッピーディスクドライブが1つで、内臓ハードディスクの装備が可能です。初めからハードディスクが内蔵されているタイプもありましたが、後からハードディスクだけ買うのに比べて割高だったので、これを買うのはやめました。機能的には満足できるものでした。金額は20万円強。

初心者にとっては、パソコンを選ぶのは、カタログや専門誌を見ても難しい用語が多くて的確な判断がしにくいものです。身近にパソコンに詳しい人がいれば教えてもらうのがいいと思います。そして自分でも専門誌などで知識をつける必要があります。後でしまった、ということにならないためにも、知識をつけた上でじっくりと選んで購入する機種を決めるべきだと思います。次回は手元にパソコンが届いて、実際に操作する段階の話の予定です。

（げんた）

